

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIグローバル株式債券バランス・ファンド（為替ヘッジあり）」は、2025年5月28日に第6期決算を行いました。

当ファンドは、主として外国投資信託証券「LOFファンズ・プラネタリー・トランジション（円ヘッジあり 円建）」及び「LOFファンズ・グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）」への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第6期末（2025年5月28日）

基準価額	9,183円
純資産総額	184百万円
第6期	
騰落率	△1.5%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBIグローバル株式債券 バランス・ファンド （為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第6期（決算日2025年5月28日）

作成対象期間（2024年5月29日～2025年5月28日）

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2024年5月29日～2025年5月28日）



期 首： 9,321円

期 末： 9,183円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率： △1.5%（分配金再投資ベース）

（注1）当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・ 米国景気の軟着陸への期待
- ・ 米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・ 堅調な米国景気を背景とした企業業績の好調持続
- ・ 人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・ 日米金利差による為替のドル高基調の継続

下落要因

- ・ 想定以上に堅調な米国景気による金融緩和策の後退
- ・ トランプ政権の財政拡大政策によるインフレの高止まり
- ・ トランプ政権の関税政策による世界経済の停滞
- ・ 米国債の格下げによるリスク回避の強まり
- ・ 為替市場の円高

1万口当たりの費用明細

（2024年5月29日～2025年5月28日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	109 円	1.177 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 46 ）	（0.495）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 61 ）	（0.660）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 2 ）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	70	0.756	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 29 ）	（0.319）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	（ 40 ）	（0.437）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	179	1.933	
期中の平均基準価額は、9,231円です。			

（注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注3）各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

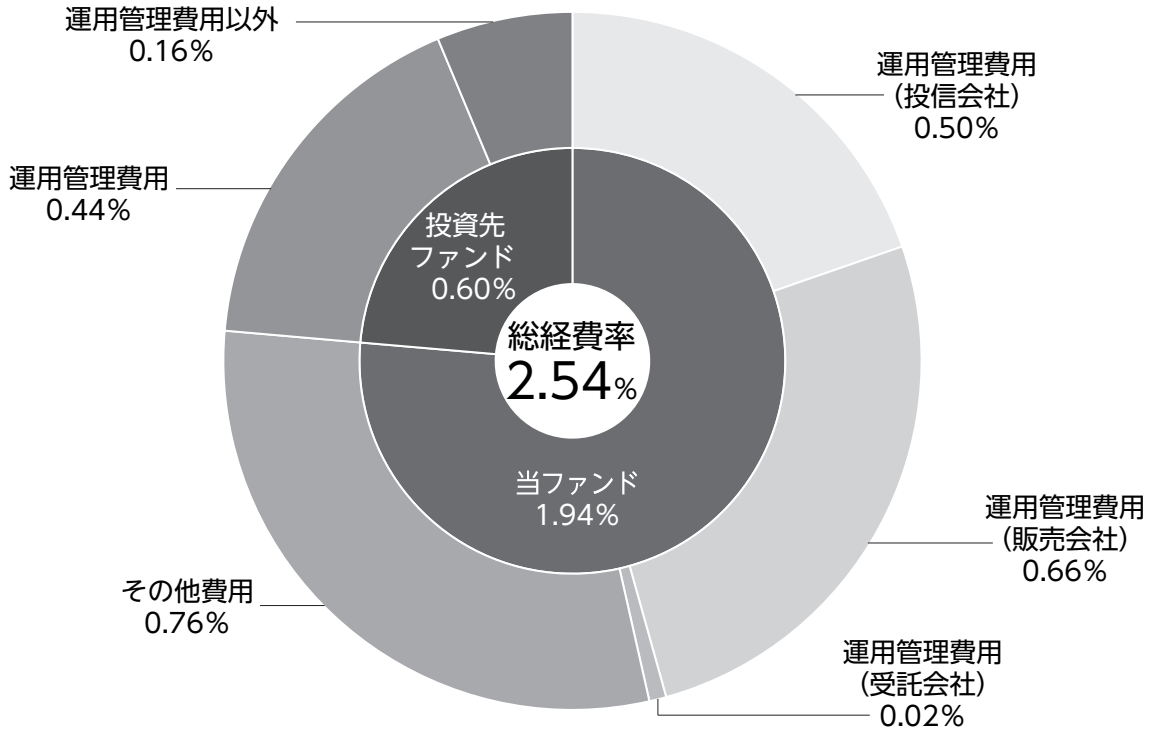
（注4）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注5）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.54%です。**



（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	2.54
①当ファンドの費用の比率	1.94
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.44
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

（注3）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

（注5）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

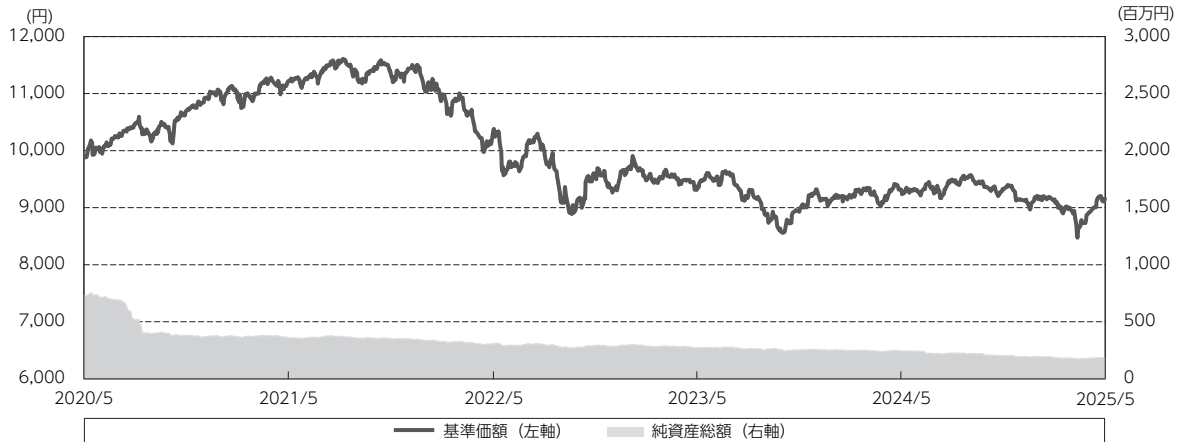
（注6）当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注7）①と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2020年5月28日～2025年5月28日）



（注）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

	2020年5月28日 決算日	2021年5月28日 決算日	2022年5月30日 決算日	2023年5月29日 決算日	2024年5月28日 決算日	2025年5月28日 決算日
基準価額 (円)	9,854	11,220	10,365	9,313	9,321	9,183
期間分配金合計（税込み） (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	13.9	△7.6	△10.1	0.1	△1.5
純資産総額 (百万円)	732	357	310	270	245	184

（注1）当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

（2024年5月29日～2025年5月28日）

※下記データ及びコメントにつきましては、本ファンドの主要投資対象である「LOファンズ-プラネタリー・トランジション」及び「LOファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド」をそれぞれ運用するロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（スイス）エス・エー又はロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッド／アフーマティブ・インベストメント・マネジメント・パートナーズ・リミテッド（AIM）（以下、「ロンパー・オディエ社」と総称することとします）からの資料を基にSBIアセットマネジメントにて編集しています。

【株式市場】

当該期間中、株式市場は米ドル建てネット・トータル・リターンベースで約14%上昇しました。2025年4月には一時的に約15%の下落局面が見られたものの、その後は急速に回復しました。

2024年は、インフレ率の鈍化と景気後退の回避が市場を下支えした一方、逆イールドの継続や伝統的な景気指標の低迷が投資家心理に影を落としました。米国は予想を上回る成長を維持し、中国は不動産と内需の課題に直面しました。欧州ではドイツおよびフランスを中心に景気が低迷する中、PIGS諸国は相対的に堅調でした。日本は数十年にわたる経済停滞からの脱却が注目されました。

2025年は波乱の幕開けとなりました。米国では、トランプ政権による貿易政策の強化が市場に不透明感をもたらしました。欧州では、ドイツの財政政策転換や、欧州連合（EU）による約8,000億ユーロ規模の防衛投資計画「欧州再軍備（ReArm Europe）」の発表などが、将来への投資機運を高めました。こうした地政学的・経済的変化を背景に、市場ではバリュー株への選好が強まる展開となりました。

【債券市場】

過去12ヵ月間の債券および為替市場は、地政学的リスクや主要国の政策動向を背景に、大きな変動を伴う展開となりました。

米国では、期初より中東情勢の緊迫化や米国大統領選挙を巡る不透明感が市場の注目を集めました。短期金利はその後大幅に低下しましたが、選挙後には新政権によって関税措置を含む多岐にわたる新政策が導入され、市場の変動性は高い状態が継続しました。また、クレジット・スプレッドは2024年夏以降、全般的に拡大傾向を示しました。

ユーロ圏では、景気減速への懸念が根強く、各国の企業景況感調査では、景気拡大ペースの鈍化が示され、特に製造業の低迷が顕著となりました。さらに、米国による関税発動の脅威や世界的な成長鈍化懸念も重なり、債券市場は引き続き厳しい環境に置かれました。

日本では、日本銀行が国債買い入れの縮小に加え、利上げを実施しました。これにより、金融政策の正常化が意識され、国内金利はやや高めの水準で推移しました。一方、アジア地域では、中国人民銀行が景気刺激策の一環として緩和的な金融政策を継続し、利下げを実施しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年5月29日～2025年5月28日）

<当ファンド>

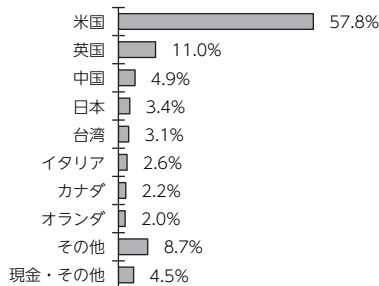
主として外国投資信託証券「L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジあり 円建）」及び「L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）」への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、運用いたしました。

<L Oファンズ - プラネタリー・トランジション（円ヘッジあり 円建）>

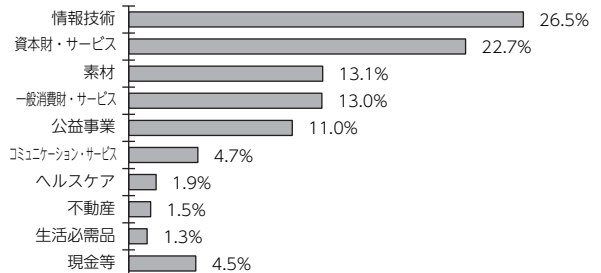
主として世界各国の株式等に投資し、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。また、銘柄の選定にあたっては、E S Gの観点を加味し、複数の側面から銘柄の分析を行い、選定いたしました。

なお、直近4月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっています。

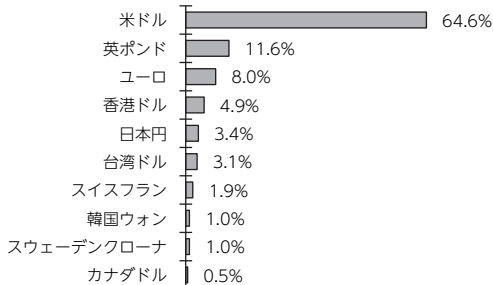
国・地域別構成



業種（セクター）別構成



通貨別構成



※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※各構成比率については、四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。

※業種別構成は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

【組入上位10銘柄】

	銘柄名	国・地域	業種	比率
				%
1	エヌビディア (NVIDIA Corp)	米国	情報技術	4.8
2	アルファベット (Alphabet Inc)	米国	コミュニケーション・サービス	3.0
3	アマゾン・ドット・コム (Amazon.com, Inc)	米国	一般消費財・サービス	2.9
4	エネル (Enel SpA)	イタリア	公益事業	2.6
5	クラウン・ホールディングス (Crown Holdings, Inc)	米国	素材	2.4
6	ネクステラ・エナジー (NextEra Energy, Inc)	米国	公益事業	2.4
7	SSE (SSE PLC)	英国	公益事業	2.2
8	ケイデンス・デザイン・システムズ (Cadence Design Systems, Inc)	米国	情報技術	2.2
9	マイクロソフト (Microsoft Corp)	米国	情報技術	2.1
10	PTC (PTC Inc)	米国	情報技術	2.0
組入銘柄数		64銘柄		

※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※組入上位10銘柄に記載の国・地域名は、発行国を表示しているため、主要取引所国とは一致しない場合があります。

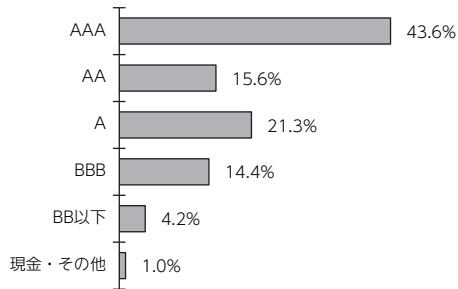
※業種は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

< L Oファンズ - グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建） >

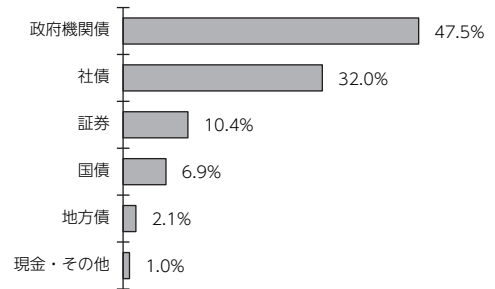
主として世界各国の債券等に投資し、気候変動の抑制／適応への貢献及びソーシャル・インパクトがあると考えられる債券を厳選し、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行いました。

なお、直近4月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっています。

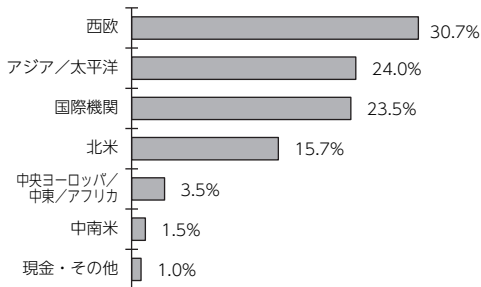
債券格付け構成



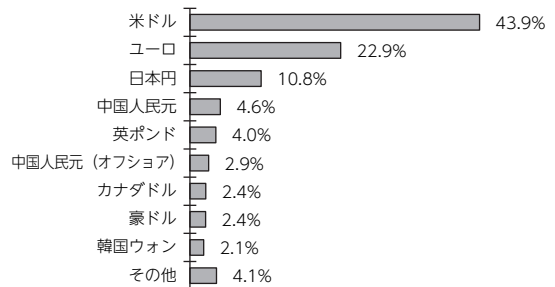
債券種別構成



地域別構成



通貨別構成



※上記比率はいずれも組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※格付は S&P・Moody's の格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合は Fitch の格付けを採用しています。

※各構成比率については、四捨五入の関係上、合計が 100% とならない場合があります。

【ポートフォリオ構成】

平均クーポン（％）	3.29
平均残存期間（年）	8.70
平均格付け	AA-
修正デュレーション	6.66
組入銘柄数	141銘柄
最終利回り（％）	3.85

※「クーポン」とは、額面金額に対する単年の利息の割合です。

※格付はS&P・Moody'sの格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合はFitchの格付けを採用しています。

※「修正デュレーション」とは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標の一つであり、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ（リスクの大きさ）を表します。

※デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

※「最終利回り」とは、満期までの保有を前提とした場合における、投資元本に対する収益の割合を表す指標です。

※記載の内容は基準日現在のものであり、将来における運用成果をお約束するものではありません。

【組入上位10銘柄】

	発行体名	国・地域等	債券種別	クーポン	償還日	格付け	比 率
							%
1	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	4.38%	2034/2/28	AAA	5.1
2	欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	3.75%	2033/2/14	AAA	4.8
3	オランダ国債	オランダ	国債	0.50%	2040/1/15	AAA	3.6
4	欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	4.38%	2031/10/10	AAA	3.0
5	米州開発銀行	国際機関	政府機関債	4.38%	2044/1/24	AAA	3.0
6	韓国輸出入銀行	韓国	政府機関債	1.07%	2029/11/28	AA	1.5
7	韓国住宅金融公社	韓国	政府機関債	4.63%	2033/2/24	AA	1.5
8	バーサクローナン	スウェーデン	社債	0.11%	2030/3/13	A	1.4
9	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	7.25%	2027/1/21	AAA	1.4
10	連邦住宅抵当公庫（ファニー・メイ）	アメリカ	証券化	4.50%	2052/12/1	AAA	1.4
組入銘柄数		141銘柄					

※比率は組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

※格付はS&P・Moody'sの格付けのうち、高い方を記載しています。なお、両社にない場合はFitchの格付けを採用しています。

※記載の内容は基準日現在のものであり、将来における運用成果をお約束するものではありません。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年5月29日～2025年5月28日）

当ファンドは外国投資信託証券への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

分配金

（2024年5月29日～2025年5月28日）

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第6期
	2024年5月29日～ 2025年5月28日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	998

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、外国投資信託証券「L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジあり 円建）」及び「L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）」への投資を通じて、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。また、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、運用いたします。

なお、運用にあたっては、実質基本投資割合を株式50%、債券50%を基準として±10%の範囲を原則としつつ運用を行います。

<L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジあり 円建）>及び

<L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）>

当該外国投資信託を運用している、ロンバー・オディエ社は、以下のようにコメントをしています。

【L Oファンズ-プラネタリー・トランジション】

2024年は、インフレの鎮静化を背景に、主要国（日本を除く）で利下げが進展し、ソフト・ランディングへの期待が高まりました。これにより、2025年以降は株式市場のパフォーマンスが、一部の銘柄からより広範な銘柄へと波及する可能性が見込まれます。

足元では、当ファンドが重視するクリーンエネルギーなどのテーマは、循環的な逆風に直面していますが、構造的な成長トレンドは依然として確立されており、今後再評価されると見ています。過小評価されてきた分野に投資家の関心が再び向かうことで、新たな投資機会が生まれると考えています。

当ポートフォリオは、引き続き質の高い成長と規律あるバリュエーションを重視し、専任のリサーチ・チームの知見を活用して、ネットゼロ社会への移行に伴う投資機会を的確に捉えることを目指します。これにより、多様な成長機会の提供を追求してまいります。

【L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド】

米国による関税政策の転換は、世界経済に対する不確実性を高め、成長見通しに下押し圧力を与えています。クレジット・スプレッドは拡大傾向にあるものの、依然として歴史的にタイトな水準にあることから、慎重な姿勢を維持しつつ、銘柄および地域を厳選し、適切な範囲でクレジット・リスクの追加を進めてまいります。

また、スプレッド拡大局面に備え、特に割高感のある一部の発行体の売却を通じて、再投資の機会を確保するとともに、ポートフォリオ全体の格付けおよび流動性の向上を図る方針です。加えて、ディフェンシブ色の強いセクターや、関税の影響を受けにくい、または恩恵を受ける可能性のある地域のクレジットを選好します。

世界経済減速を見据え、ポートフォリオのデュレーションはベンチマークに近づけつつ、米国、欧州、日本のポジションを小幅にオーバーウェイトとし、市場環境に応じた柔軟な運用を行ってまいります。

お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。
（変更適用日：2025年4月1日）

<当該約款変更につきまして>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

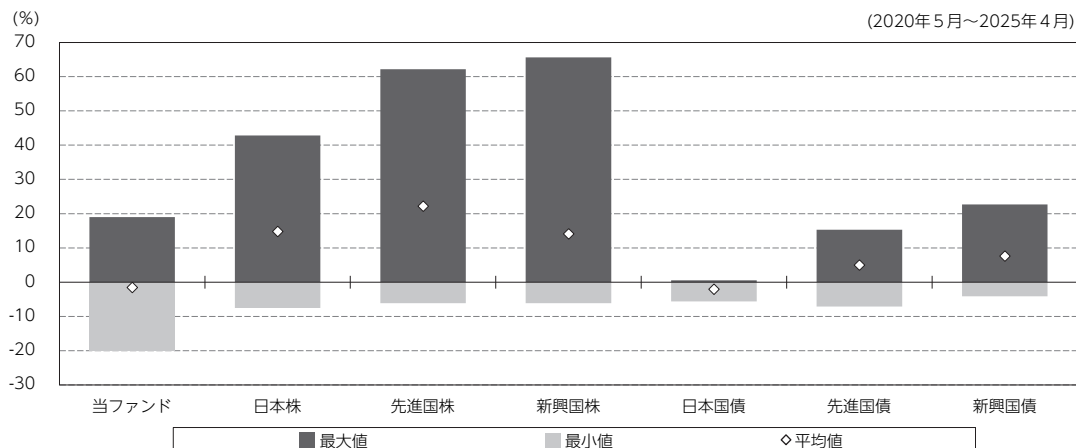
今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	信託期間：2029年5月28日まで（設定日：2019年5月30日）
運 用 方 針	この投資信託は、世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資し、実質基本投資割合を株式50%、債券50%を基準として±10%の範囲を原則としつつ運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
主 要 投 資 対 象	外国投資信託証券「L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジあり 円建）」及び「L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）」を主要投資対象とします。
運 用 方 法	世界の株式及び債券等（社債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等）に投資を行います。なお、ファンドが投資する投資信託証券では、その運用プロセスにおいてESGやインパクト投資のスクリーニングが含まれます。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。
分 配 方 針	毎決算時（年1回、毎年5月28日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針により、分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益及び売却益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.0	42.8	62.2	65.6	0.6	15.3	22.7
最小値	△ 20.0	△ 7.5	△ 6.1	△ 6.1	△ 5.6	△ 7.1	△ 4.1
平均値	△ 1.5	14.8	22.2	14.1	△ 2.1	5.0	7.6

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年5月28日現在)

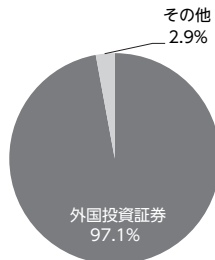
○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
	%
ＬＯファンズ－プラネタリー・トランジション（円ヘッジあり 円建）	48.6
ＬＯファンズ－グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）	48.5
組入銘柄数	2 銘柄

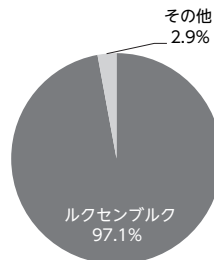
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

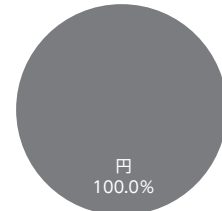
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

純資産等

項目	第6期末
	2025年5月28日
純資産総額	184,259,440円
受益権総口数	200,643,321口
1万口当たり基準価額	9,183円

(注) 期中における追加設定元本額は8,849,911円、同解約元本額は71,108,514円です。

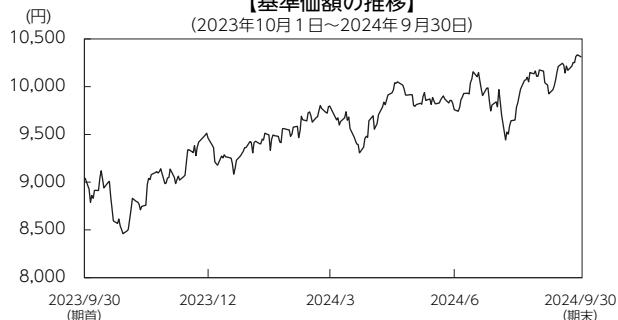
組入上位ファンドの概要

L Oファンズ-プラネタリー・トランジション（円ヘッジあり 円建）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】

(2023年10月1日～2024年9月30日)



【1万口当たりの費用明細】

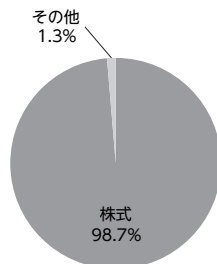
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

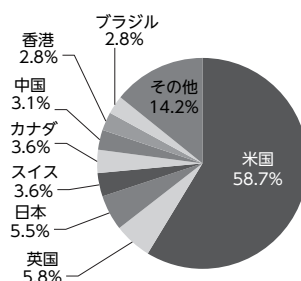
(2024年9月30日現在)

銘柄名	国・地域	通貨	業種名	比率
1 エヌビディア (NVIDIA Corp)	米国	ドル	情報技術	4.4%
2 マイクロソフト (Microsoft Corp)	米国	ドル	情報技術	4.0%
3 アマゾン・ドット・コム (Amazon.com, Inc)	米国	ドル	一般消費財・サービス	3.2%
4 ネクステラ・エナジー (NextEra Energy, Inc)	米国	ドル	公益事業	3.1%
5 サーマフィッシャーサイエンティフィック (Thermo Fisher Scientific, Inc)	米国	ドル	ヘルスケア	3.0%
6 AIAグループ (AIA Group Ltd)	香港	ドル	金融	2.8%
7 ウィートン・プレシャス・メタルズ (Wheaton Precious Metals Corp)	カナダ	ドル	素材	2.8%
8 ユナイテッドヘルス・グループ (UnitedHealth Group Incorporated)	米国	ドル	ヘルスケア	2.4%
9 台湾セミコンダクター (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd)	台湾	ドル	情報技術	2.3%
10 ダノン (Dannon)	フランス	ユーロ	生活必需品	2.3%
組入銘柄数	52銘柄			

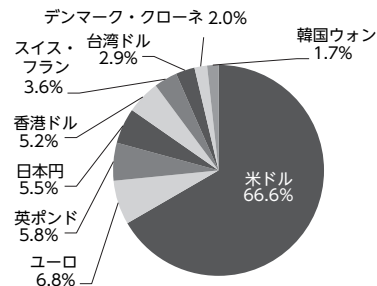
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年9月30日現在のものです。

(注2) 比率はいずれも主要組入投資信託証券の純資産総額に対する割合です。

(注3) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

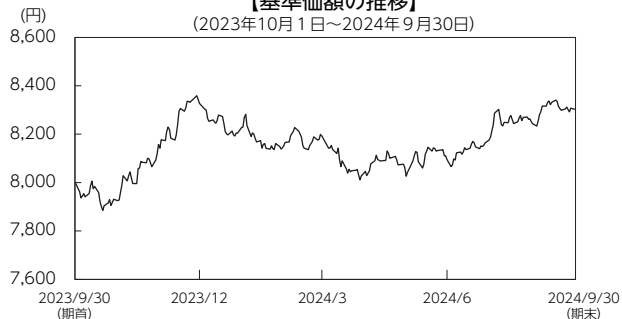
(注4) 業種は世界産業分類基準（GICS）による分類です。

L Oファンズ-グローバル・クライメイト・ボンド（円ヘッジあり 円建）

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成しております。

【基準価額の推移】

（2023年10月1日～2024年9月30日）



【1万口当たりの費用明細】

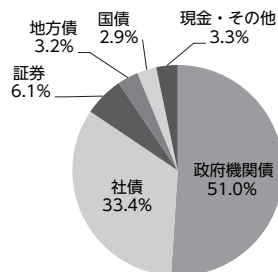
入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

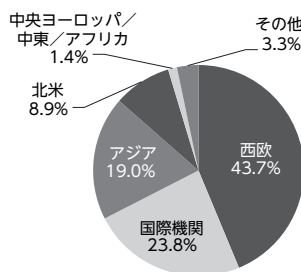
（2024年9月30日現在）

	銘柄名	国・地域	債券種別	比率
1	欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	7.2%
2	ドイツ復興金融公庫	ドイツ	政府機関債	6.1%
3	国際開発協会	国際機関	政府機関債	3.1%
4	住宅金融支援機構	日本	政府機関債	2.4%
5	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	1.9%
6	欧州投資銀行	国際機関	政府機関債	1.7%
7	米州開発銀行	国際機関	政府機関債	1.6%
8	欧州連合	国際機関	政府機関債	1.6%
9	アジア開発銀行	国際機関	政府機関債	1.5%
10	国際復興開発銀行	国際機関	政府機関債	1.5%
組入銘柄数		173銘柄		

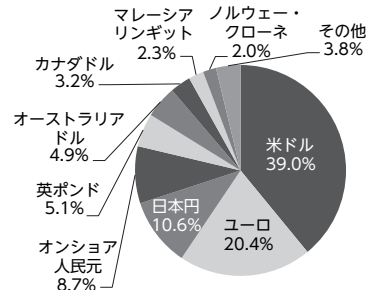
【資産別配分】



【国・地域別配分】



【通貨別配分】



（注1）組入上位10銘柄、資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分のデータは2024年9月30日現在のものです。

（注2）比率はいずれも主要組入投資信託証券のポートフォリオに対する割合です。

（注3）資産別配分、国・地域別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

〈各指数の概要〉

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。